

令和4年度 第11回板倉区地域協議会 次第

日時：令和4年11月11日(金)
午後6時～

場所：板倉コミュニティプラザ
201・202会議室

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 所長あいさつ
- 4 報告事項
 - ・ 廃校の利活用に関する先進地視察について

 - ・ 旧筒方小学校の漏水について
- 5 協議事項
 - ・ 地域活性化の方向性について
- 6 その他
 - ・ 視察研修の振り返り
- 7 閉 会

先進地視察報告

長野県飯綱町の廃校活用

視察日：令和4年9月6日（火）

板倉区総合事務所



飯綱町の基本情報

○ 総人口：10,579人

○ 世帯数：4,225世帯

令和4年9月30日現在

板倉区と比較すると・・・

○ 総人口：6,168人

○ 世帯数：2,169世帯

令和4年10月1日現在



約2倍の規模

平成17年に牟礼村と三水村が合併により「飯綱町」が誕生。
長野県の北部に位置しており、東西に13.9km、南北に15.6km、面積は75.0km²。
西・南は長野市、北は信濃町、東は中野市に隣接する、飯綱山から斑尾山までの
穏やかな丘陵地。
町の地形はすり鉢状をなし、底辺部となる町の中心には鳥居川が流れている。
りんご、水稻をはじめとする農業が基幹産業。

廃校活用に至る背景

- ・ 飯綱町でも少子高齢化が進んでいた。
1945年 15,719人 →2015年 11,000人
- ・ それに伴い、平成30年3月に飯綱町に4校あった小学校が2校閉校する。
→学校が地域のシンボル、地域の交流・憩いの場の喪失



旧牟礼西小学校
→のちの「いづなコネクトWEST」



旧三水第二小学校
→のちの「いづなコネクトEAST」

- ・ この状況を何とかしようと、平成27年から廃校舎の利活用について、住民組織と共働で検討するプロジェクトチームを設立し、跡地活用を検討し、平成29年に飯綱町へ提言書を提出した。その提言書に基づき、町が事業化を決定。
→地方創生推進交付金事業を活用して、跡地施設を整備することが決まる！

いいづなコネク ト開設に向けた流れ

年次	内容
2011 (H23) 年	「飯綱町教育環境あり方検討委員会」において町の教育の在り方について議論を開始
2013 (H25) 年	「飯綱町小学校統合検討委員会」において、平成30年3月に4校を2校とする方針を決定
2015 (H27) 年	「飯綱町総合戦略会議」を開催 「飯綱町・ひと・しごと創生 人口ビジョン及び総合戦略を策定」
2016 (H28) 年	閉校が予定されている三水第二小学校区の赤東地区において、廃校舎の利活用等について、地域住民と共働で検討するプロジェクトチーム「赤東未来創造プロジェクト」を設置し、町へ提言書を提出
2017 (H29) 年	閉校が予定されている牟礼西小学校地区の高岡地区において、廃校舎の利活用等について、地域住民と共働で検討するプロジェクトチーム「高岡地区活性化109委員会」を設置し、町へ提言書を提出

いいづなコネク ト開設に向けた流れ

年次	内容
2018 (H30) 年	町内4小学校が統合により閉校 地方創生推進交付金事業を活用し、町の活性化拠点として廃校舎の整備と運営体制づくりを進めることを決定 旧三水第二小学校を「しごとの創業・交流拠点」として整備着手
2019 (R1) 年	まちづくり会社「カンマッセいいづな」(※)を設立 旧牟礼西小学校を「体験・滞在型の都市交流等の拠点」として整備着手
2020 (R2) 年	いいづなコネク トEAST (旧三水第二小学校) OPEN
2021 (R3) 年	いいづなコネク トWEST (旧牟礼西小学校) 全館OPEN

※ 2019年5月に創業した『民間のまちづくり会社』
旧三水第二小学校、旧牟礼西小学校の跡地利用を主の目的に作られた会社
指定管理者として、いいづなコネク トEAST及びWESTを運営している



2020年7月OPEN
『食・農・しごと創り』を
テーマにした複合施設



2021年4月全館OPEN
『自然・スポーツ・健康』を
テーマにした複合施設



いいづなコネク ト EAST

1F (食)

- ・ コミュニティラウンジ
- ・ 貸店舗 (カフェ、リンゴを使った醸造施設等)
- ・ 貸事務所
- ・ ブックラウンジ



EAST外観



エントランス



コミュニティラウンジ



ブックラウンジ



いいづなコネクトEAST

2F (しごと創り)

- ・ ツクリバWORK ROOM、LOUNGE等
(仕事の創業拠点となるための
スペース)
- ・ 貸事務所



ツクリバLOUNGE



ツクリバLABO

体育館

(体育館のほかに下記の施設がある)

- ・ 赤東児童クラブ
- ・ パワーリハビリテーション



赤東児童クラブ



パワーリハビリテーション



いいづなコネクトWEST

メイン棟1F

- ・コミュニティラウンジ
- ・ランドリー
- ・食堂（一般利用）
- ・貸事務所（フリースクール）
- ・会議室



WEST外観



コミュニティラウンジ



ランドリー



食堂



いいづなコネク トWEST

メイン棟2F

- ・ コワーキングスペース
- ・ 貸事務所



コワーキングスペース

メイン棟3F

- ・ 宿泊室



宿泊室



宿泊室



いいづなコネク トWEST

スポーツ棟1F

- ・スタジオ
- ・貸店舗
- ・更衣室、シャワールーム
- ・パワーリハビリテーション
- ・牟礼西児童クラブ



コワーキングスペース



牟礼西児童クラブ

スポーツ棟B1

- ・トレーニングジム
- ・給食室（児童クラブやテナント従業員用）



トレーニングジム



給食室



いいづなコネクトWEST

スポーツ施設

- ・ サッカーグラウンド
- ・ 体育館



人工芝サッカーグラウンド



体育館

視察を振り返って

運営会社(株)カンマッセいいづなから学ぶこと

○施設活用による効果

- ・ 様々な機能を持たせることや、各種イベント開催により、地域住民が楽しめる施設になっている。
- ・ 施設をきっかけに、町外から訪れる方が増え、飯綱町の認知度アップにつながっている。
- ・ 各テナント企業によって、町に雇用が増えている。

○施設活用の中長期ビジョン

- ・ 施設の枠を超え、飯綱町全体に賑わいや活気を生む。
- ・ 町からの収入に頼らず自主運営によって成り立つ施設を目指す。
- ・ しごとの創出、企業誘致を行い、社会人口、関係人口を増やす。

○カンマッセいいづなが大事にしていること

- ・ 行政との連携によるまちづくり
- ・ 町にないものよりも「あるもの」に着目した企画
- ・ 社員が「楽しめる」仕事をする。



旧筒方小学校の漏水について

1 漏水発覚の概要

- ・令和4年4月1日（金）上越市ガス水道局検針員による通報により発覚
- ・施設の水道検針用メーターの数値が前回（令和4年2月）の検針数値よりも大幅に増加していた。
- ・上越市ガス水道局が現地調査を行ったところ、複数個所で漏水している可能性があり、場所は特定できないということであった。

2 対応の概要

- ・4月中旬に施設内配水用止水栓を設置し、施設を使わないときは水道を完全に止めている。施設を使うときは栓を開けて水道を使っているが、修繕はしていないため、漏水状態がおこる。
- ・筒方地区連絡協議会から漏水修繕の要望をいただいております、板倉区総合事務所としても修繕の必要性は認識していることから、市担当課に協議している。

3 地域の声

- ・4月19日（火）板倉区地域協議会で旧筒方小学校の漏水修繕について意見が出される。
- ・7月15日（金）筒方地区連絡協議会と板倉区地域協議会の意見交換会で地域の課題として、旧筒方小学校の漏水修繕について意見が出される。
- ※8月8日（月）板倉区地域協議会において、6地区連協との意見交換会の結果を受けて、自主的審議事項として「廃校の利活用」について審議することを決定した。

(参考)

○旧筒方小学校について

<建築年度> 昭和50年12月竣工（体育館）

昭和53年3月校舎改造（校舎・給食施設部分）

平成6年3月改築・新築（校舎・給食施設・渡り廊下部分）

<構造・面積> RC造3階 2,022.64㎡（中庭物置、プール機械棟を除く）

<閉校年月日> 平成16年3月31日

<現在の貸付状況> [借受者] 筒方地区連絡協議会

[貸付期間] 令和4年4月1日～令和5年3月31日

[貸付物件] 土地：174.20㎡、建物：269.40㎡

[貸付料（年額）] 土地：4,355円、建物：無償

※光熱水費等は別途請求

板倉区における「地域活性化の方向性」(案)

《板倉区の地域活性化に向けて》

板倉区の豊かな自然や文化、長い歴史をいかして、そこで暮らす人が誇りや愛着をもち、訪れる人が楽しめる地域づくりを目指します。

○構成要素

・米や蕎麦などの農作物の美味しさや魅力の発信
・豊かな自然環境や歴史文化をいかした企画
・美しい景観や里山風景を守る
・子どもたちに板倉を愛する心を育てる
・冬期間の安心安全な暮らしの推進
・「板倉に住みたい」「板倉に住み続けたい」と思えるような、地域づくり